



KURIDA INTERNATIONAL



KURODA International

黒田 毅

デジタル社会におけるデジタルデータと地図の融合における、デジタル社会とスマートフォン、ナビゲーションの活用

全てのデジタルサービスを地図と融合させ、スマートフォンとカーナビゲーションにおいて、そのデジタルサービスと現実の融合を提案することを事業化したいと考える。

- これらはデジタルソサエティが、これら、基幹サービスとともに、その統合と可能性を実現できるのであり、統一した規格とともにサービスの構築を構築することは可能である。これらは、オープンソースにおける開発環境を提案し、新たなデジタル社会における基幹インフラとしての提案を実現できるものである。
- これらは生活とデジタルサービスが融合することであり、統一規格とスマートフォンやカーナビゲーションにおけるナビゲーションとサポートとしての活用は、社会がデジタル化を自己に有することを提案することである。
- これらは社会のすべての現実が、デジタルサービスとの融合を有することなのである。

KURODA INTERNATIONAL



KURIDA INTERNATIONAL

- これらは、全ての現実のデジタル化の統一を提案するものである。これらは規格の構築において、全てのデジタルサービスが、これら現実へ収束し、これらはタブレットやスマートフォンにおけるパスポートやナビゲーションにおいてその新たな可能性の拡大を実現できるのである。

サービスイメージ

- 道路を走る時、カーナビゲーションが近隣情報を表示し、音声アシスタントにおける個別情報へのアクセスを行う。道を歩く時、スマートフォンがこれらデジタル情報とサービスを特定アプリケーションにおいて表示し、店舗へ入店する時これらサービスが表示されるなど、デジタル社会とサービスにおける標準化したサービスをして提案できるものである。
- これらは全てのデジタルサービスが標準化と統一規格において、アプリケーションにおける利用とデジタルパスポートにおける参加を提案するものである。これらはオープンソースにおける開発環境を提供し、そのサービスの拡大を提案するものである。
- これらは位置情報の表示や、コミュニケーションサービスとの融合における可能性など、IT 社会における可能性の拡大を提案するものである。
- これらは社会のデジタル化がこれら基盤において飛躍することができるのであり、デジタル社会における基幹インフラとしての提案が実現できるのである。

KURODA INTERNATIONAL